



長門市立子育て支援センターだより

2025年3月1日発行



子育てお役立て情報



だんだんと、温もりを感じられる日が増えてきました。しかし寒さが突然戻ってくることもあるので、まだまだ子どもの体調に気をつけて過ごしましょう。子どもたちの笑顔は体調管理ができてこそ生まれるものです。免疫力アップのためにも生活リズムを整えて、春を迎えましょう。

「子どもが育っていく中での大人のかかわり方や子ども同士のかかわり方はどうしたらいいか？」という声が聞かれます。大人の役割は、子どもの探索行動を出来る限り邪魔しないこと。子どもの気持ちを優先し、満たしてあげること。他の子と比べず、一人一人の子どもの良さを見抜くことです。そして見守られ肯定してもらえる環境で育った子どもは、自然に友だちと関わるようになり、友だちがやっているのを見て「これは、おもしろそうだ。」「あれもやってみたい。」と自分の世界を広げていきます。大人と関わったり、子どもと一緒に遊ぶなど【人と関わる力】は幼児期にしっかり身につけていきたい大事な能力です。

大人のかかわり★子ども同士のかわり

0歳

～

1歳

～

2歳

～

3歳

～

4歳

～

5歳



すべてに保護者のケアが必要

●成長に応じた生活リズムを作り、子どものふれあいをたっぷり取るなど、大人とのかかわりを通して基本的信頼関係を築きながら、赤ちゃんが泣いたときは、「何か伝えたいことがあるのね。」と理解し泣き方の違いに気づきましょう。

★ほかの子に関心を示し、表情をまねしたり、ハイハイで接近したり、同じおもちゃを手にしたして遊ぶ。



まず赤ちゃんとお笑い

たくさん関わって、子どもと目を合わせて、笑いかけ
笑い声を引き出すことによって、
「あ〜」「う〜」と、もっともっとと
声を出すようになります。おもちゃを使ってあやし、
大人との絆を作りましょう。
「あっぷっぷ〜」「いないいないばあっ！」
「ガラガラいい音ここよ〜」「こちょこちょするぞ〜」
「たかい！たかい！」「ここまでおいで〜」
など大人が気軽に声に出して、
一緒に笑いあいましょう！



ケアが必要

イヤイヤ期が始まる

●イヤイヤしたときは、わけを考えてみる事が大切。
勝手に思い込まず、どんな気持ちだったかをわかってあげ、気持ちを表現できたことを喜びましょう。
★自分のやりたいことを主張したり、おもちゃを取りあうなど、友だちとのぶつかりを体験するなかで、大人に共感してもらい、気持ちを代弁してもらいながら、自分とは違う相手の気持ちを少しずつ感じていくようになる。



運動機能や自発性が向上する

●子どものやりたい気持ちを受け止め、物の使い方や方法を教えたりする。
●保護者がモデルとしての役割を自覚し行動する。
★友だちと遊んでいく
中で、自己主張する、相手の気持ちを理解する、我慢することが少しずつできるようになる。小さなトラブルや課題が自分たちで解決できることもある。



いはい いないばあ
～No.92～
どんぐり文庫わらべうたあそびの会

「はんぶんこ」
福音館書店

「はんぶんこ」
「おいしいね」
「うれいね」

「まあいあなの トーナツ 「はんぶんこ」
いっしょの ドーナツ 「おいしいね」
いっしょに ドーナツ 「うれいね」
ドーナツに続いて アツアツやきいも、三角おにぎり
質感や香りまで伝わってきそうなおいしい食べものが
次々と出てきます。
そばにいる ○○さんと 「はんぶんこ」
心もおなかも 満たされる 一冊です。～担当者～

公立子育て支援センターの愛称が、令和7年度4月から
【わくわくひろば もあ】に変更になります。
これからもご利用よろしくお願いします。